

医療難民を救うテクノロジー

- 医療アクセスの壁を超え
国の境界を超える未来の医療 -

鈴木 満

外務省メンタルヘルス・コンサルタント
認定NPO法人心の架け橋いわて 代表
NPO法人 JAMSNET東京 メンタルヘルス担当理事

禁複写・転用



医療難民 = 災害弱者

子ども、高齢者
身体障がい者 約393万人
知的障がい者 約74万人
精神障がい者 約392万人
在日外国人 約240万人
医療過疎地住民
大規模自然災害被災住民
海外在留邦人 約140万人



SDGsの理念

No one will be left behind

誰一人取り残さない



医療の理想

いつでも

誰でも

どこにいても



Access アクセス

接続、接近手段、利用可能にする
医療を届ける手段



医療難民を救うテクノロジー

- 医療アクセスの壁を超え、
国の境界を超える未来の医療 -



患者とのアクセス
地域とのアクセス
患部とのアクセス
支援者とのアクセス
情報とのアクセス
医療者自身とのアクセス



アクセスのためのテクノロジー



医療サービスの理想は「いつでも、誰でも、どこにいても」受診できることです。しかし医療機関までの距離、交通手段、偏見、医療者とのコミュニケーション、国によって異なる医療制度など、バリアフリーを妨げる様々な物質的要素、そして心理的要素があります。

今回の講演会では、これらの課題に挑戦する先進医療の実例を紹介しながら、障がい者、医療過疎地住民、海外在留邦人などへの多様な医療支援のあり方について、マイノリティという共通視点から共に考えます。

